

一般質問

町の考えを問う



一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。一人当たりの持ち時間は答弁を含めて50分です。

掲載している内容は、質問者自身が要約し、広報広聴特別委員会が校正したものです。

一般質問の映像を町のホームページのほか、YouTubeでも配信しております。

また、会議録も町のホームページからご覧いただけます。



五十嵐一夫議員

病院跡地、すでに売却を決定したと聞くが、町の見解は買受者の件は認識しておりません

問 新庁舎建設「まちづくり懇談会」開催の、町民への周知を「情報かわら版」の一角に掲載し、町民に気づきにくく、控えめにした意図は何か。

答 再考しなければならぬと認識しています。

問 町長は新庁舎位置を心の中心でどこにしたいと思っっているのか。

答 私個人として、どこにしたかという思いはありません。

問 厚生病院跡地を新庁舎候補地にすることを関係者に通知せず、候補地の選定議論をすることに瑕疵はないのか。

答 最終的に建設候補地を決定したら、所有関係者へと通知します。

問 既に厚生病院跡地については、買受者が決定しているという事、買受者は自己の事業目的で取得する以上、新庁舎候補地とはなりえないのであり、見解を求めます。

答 既に買受者が決まったという連絡はいただいていません。

只見線景観スポット、認識と維持管理 専門家の意見も聞き整備したい

問 只見線、列車からの景観・列車を眺める景観スポットを認識しているか、景観スポットの維持管理・開拓への事業取り組みの考えはないか。

答 調査を実施して、11か所のポイントをピックアップしました。観光資源として活用していくための枝払いや、除草作業が必要な箇所を確認していきます。



会津坂本駅東

これも質問

問 町との取引業者関係からの一般寄付は、誤解を招くので断ち切るよう進言する。



横山智代 議員

町の健診に「聴力検査」を加え「補聴器」購入助成を！
健診に「聴力検査」を加えるには至らないと考えております

問

高齢者の健診促進・認知症予防の点からも、健診に「聴力検査」を加えさらに「補聴器」購入助成を考えられないのか。

答

町で実施している「総合健診」の委託先「福島県保健衛生協会」の項目には「聴力検査」は含まれておりません。高齢者には多い「老年性難聴」は、高音が聞き取りにくくなるという特徴がありますが、通常の聴力検査では確認することができないため、医療的判断が必要となります。

このようなことから、町としては生活習慣病等を未然に防止することを目的に実施している健診に「聴力検査」を加えるには至らないと考えております。

補聴器購入については、介護保険制度の福祉用具の対象となっていないため、給付を行っておりません。また、介護保険制度以外



補聴器により認知症予防にもつながる

での助成も現在のところ考えておりません。

町民に寄り添った町職員の対応を望む
質の高い行政サービスの提供を継続可能なものとしてまいります

問

町職員の町民に対する対応が寄り添った対応とは思えない。指導、助言はどのようにしているのか。

答

苦情やご意見が寄せられた際には、一つひとつ丁寧に指導し改善に努めております。また、職員の資質向上については、職員が自ら学び、自ら成長する意識を持てる様な研修機会を確保してまいります。組織機構の見直しや専門職の配置などにより、質の高い行政サービスの提供を持続可能なものとしてまいります。

これも質問

子育てしやすい環境作り。

学校給食費の補助を。

町産業の活性化について今後の展開は。



蓮沼文明 議員

町内地価等の高止まり傾向と若者世代の移住・定住について
若者世代の移住・定住支援に今後も継続して取り組んでまいります

問

町内不動産関連の地価等の高止まり傾向を若者世代の移住・定住支援事業のなかで、町はどのように捉えているのか。

答

不動産取引の基準となる地価の当町の公示価格は近隣市町村と比較しても、高い水準にあります。価値の高い資産である反面、不動産を取得しようとする方にとっては、ハードルが高いのも事実であり、人口対策に取り組むにあたり、考慮する必要があると見ます。町では、未来を担う若者世代が、移住したい、ずっと住み続けたいと思うような移住・定住支援に継続して取り組んでまいります。



人口対策のカギは移住・定住

生活道路等の除雪強化策を問う
各行政区のご協力もいただきながら、冬期間の交通確保に取り組んでまいります

問

高齢世帯が増加する集落で生活道路等の除雪強化策は。

答

町の除雪において、降雪量や道路幅員の関係で作業ができる箇所は限られております。そのため、生活道路につきましては、周辺にお住いの皆様で除雪いただくよう、ご協力をお願いしておりますが、地域によっては高齢世帯が増加傾向にあることから、生活道路周辺の方々が、引続き、各行政区のご協力をいただきながら、冬期間の交通確保に取り組んでまいります。

これも質問

企業誘致事業の課題点及び工業団地の実態報告における町の見解を問う。

本町の企業数の推移と法人からの徴収税額の増減について伺う。



小畑博司 議員

農業でまちの活性化をはかれ
地域経済活性化につながる極めて
重要な取り組みと位置づけています

問 農業は、まち活性化の可能性を秘めています。

農業に携わる方を増やすために、農協などと連携し不耕作地などを活用して「市民農園」を立ち上げる考えはないか。

答 現在の本町農業は、燃料価格や肥料価格の高騰により

大きな打撃を受けております。このような農業経営への閉塞感が高まる状況のなかでも、担い手の育成と確保を含めた農業の活性化は、農業の存続や地域経済の活性化につながる極めて重要な取り組みであります。市民農園を開設し、様々な方が農業に触れる機会を提供していくことは、農業を多様な働き方のひとつとして選択するきっかけとなります。

また、担い手の確保や、遊休農地の解消にもつながり、さらには高齢農業者の生きがいや、健康的なまちづくりにもつながる、有効な手段であると考えます。



将来は「みんなの農園」

これも質問

問 地域おこし協力隊と共に地場産品の6次化を進めよう。

問 新規就農しやすい環境を工夫できないか。

問 介護の現状と課題について。

問 義務教育は学力重視からどのような変わろうとしているのか。

問 不登校の現状について。

問 悩みを抱える児童・生徒、家庭への支援について。



目黒克博 議員

商店街の活性化にあたり、観光を含めた未来構想は
積極的に事業を展開していきます

問 人の流れが変わりつつある商店街、これからの街づくり構想を伺う。

答 住民ニーズの変化や交通の利便性等から、街なか賑わい

わいが中心商店街から幹線道路沿線に移行しており、中心商店街では人口の減少や後継者不足などにより、空き店舗や空き家が増加しており中心市街地の空洞化が町の課題の一つであります。町としては中心市街地が活力のあるものとなるために、空き店舗等利活用事業や賑わい創出事業を実施してまいりました。今後も商店街と商工会、各種団体と連携した集客事業や定住促進事業で賑わいを取り戻し、さらに中心市街地全体に活力あるまちづくりを目指してまいります。



街なかストリート

空き家対策について
補助金導入について制度設計に着
手してまいりたい

問 老朽危険家屋の撤去について伺う。

答 特定空き家等や荒廃状況が進んで

いる空家については所有者や相続人・建物管理者等に対しては指導書・勧告書等を送達し解消を促しており、所有者が不明であったり住所が分からない等の空き家についても順次調査を進めているところです。老朽空家の撤去については、町からの指導により所有者等個人の自主性に委ねるとともに、次年度以降、解体撤去に対する補助金導入について制度設計に着手してまいりたいと考えております。

これも質問

問 社会状況変化に応じた適正な消防組織体制づくりについて問う。

問 当町の防災対策について問う。



渡部正司 議員

新庁舎建設場所の防災の考え方は 浸水等災害の可能性が低い場所で の立地が求められます

問 新庁舎建設にあたり防災の考え方をどう折り込んでいくか。特に最大深水想定3mとなる現庁舎周辺についてはどのように考えているか。

答 官公庁施設の被災例も見受けられています。洪水などの災害の激甚化・頻発化が懸念される中、市民の日常生活に密接に関係する役場庁舎は行政機能の場であるとともに、災害活動の拠点となることから、浸水等の災害が生じる可能性が低い場所に立地していることが求められます。そのため、新庁舎建設の場所には、災害時に備え、電気、水道、通信等のライフライン、一定規模以上の幅員を有する前面道路及び周辺の幹線道路、避難スペースや緊急車両の駐車場の広さを考慮する必要があります。と認識しています。

問 防災マップの改訂では浸水想定区域が一段と広範囲となるが、改訂の概要および対応策はどうか。

答 防災マップの主な改訂内容は、48時間の雨量基準を、百年に一度程度の降雨量236mmから概ね千年に一度程度の最大規模降雨量533mmに変更し、浸水想定区域や深さを変更します。浸水想定区域が現在より広範囲となるため、市民が自主的に判断し避難行動をとるための指針を新たに掲載し、人的被害の軽減と防災意識の向上を図ります。



役場で最大深水3mほどの高さ？



佐藤宗太 議員

新型コロナウイルス感染症対策に ついて町の考えは 感染の連鎖を断ち切り命と健康を守る ための体制整備に努めてまいります

問 町民支援の現状は。

答 新規感染者の全数届け出の見直しにより、市民の感染数など状況が把握できない現状がありますが、保健所の指示により、自宅療養されている方に支援できる体制を整えております。

問 ワクチン接種における体調不良等による相談の現状は。

答 初回1回目接種のワクチン後には体調不良等に関する相談が数件ありましたが、オミクロン株対応ワクチンの接種が始まって以降の相談は現在ございません。

問 5歳から11歳の小児ワクチン接種による副反応の現状と対処は。

答 臨床試験後に報告されている主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。特に3回目接種では、2回目と比較して、主にわきの下のリンパ節の

腫れが多いようです。4月以降に副反応で欠席した児童数は63名で、約10%です。



これも質問

問 コロナ禍における不登校やいじめの現状は。

問 休日部活の地域移行の現状は。

問 政府による2024年秋に現在の保険証を廃止する方針が示されたマイナンバーカードの保険証利用における高齢者支援の考えは。

問 当町でマイナンバーカードが利用できる医療機関の割合は。